


環境省・オフセット・クレジット認証運営委員会
(事務局:気候変動対策認証センター)御中

平成 22年10月8日

オフセット・クレジット(J-VER)プロジェクト登録依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における妥当性確認が終了しましたので、プロジェクト登録を依頼します。

プロジェクト名 ¹			
大阪府キンキ寝具株式会社における低温排熱回収・利用技術を利用した温室効果ガス排出削減事業			
【依頼者】プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)	キンキ寝具株式会社(キンキシングカブシキカイシャ)		
住所	大阪市東淀川区豊里 3 丁目 7 番 43 号		
代表者氏名	松尾 和紀	代表者役職	代表取締役
担当者氏名	松尾 和紀	担当者 所属部署・役職	該当なし・代表取締役
担当者 E-mail	matsuo@maruwa-wk.co.jp	担当者電話番号	06-6327-7721
プロジェクト事業者・プロジェクト参加者			
プロジェクト事業者名	キンキ寝具株式会社		
プロジェクト参加者名	財団法人大阪府みどり公社		
プロジェクト参加者名	朝日加工株式会社		
プロジェクト参加者名	住商アイナックス株式会社		
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者			
事業者名(フリガナ)	キンキ寝具株式会社(キンキシングカブシキカイシャ)		
	以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 <input type="checkbox"/> その他()である。		

¹ プロジェクト名は、抽象的な表現を避け、「〇〇県△△事業者による□□(排出削減技術)を用いた温室効果ガス排出削減事業」のように、先にプロジェクト実施場所やプロジェクト事業者名を入れる等により、第三者に事業内容が伝わりやすいものとしてください。但し、事業の愛称やキャッチコピーをサブタイトルとしてつけていただくことは可能です。

プロジェクト情報 ²	
プロジェクト概要	<p>(プロジェクトの目的や具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>1. プロジェクトの目的・内容</p> <p>キンキ寝具株式会社では、徹底した省エネを図るため、大阪府等と連携して平成 20 年度から 21 年度の 2 カ年計画で低温排熱回収などのプロジェクトを推進している。</p> <p>本プロジェクトは廃熱回収に係る以下の 2 案件について申請するものである。</p> <p>① これまで廃棄していたフラッシュ蒸気を回収し、連続洗濯機の洗濯水の加熱(消毒処理等)に利用することによりボイラーの化石燃料の消費量を削減する。</p> <p>② これまで廃棄していた洗濯排水や真水で希釈して再利用していた低温濯ぎ水の廃熱を再利用して連続洗濯機の余熱に利用することによりボイラーの化石燃料の消費量を削減する。</p> <p>2. 適格性基準との整合性</p> <p>条件 1</p> <p>①フラッシュ蒸気の回収プロジェクトについては、0.735MPaG172℃の蒸気ドレンをフラッシュ蒸気回収装置にて 0.245MPaG138℃の蒸気として回収し、連続洗濯機の加熱に利用。</p> <p>②約 62℃で廃棄していた洗濯排水から熱交換器で廃熱を回収して洗濯用濯ぎ水に利用。</p> <p>条件 2: 廃棄していた蒸気ドレンからのフラッシュ蒸気回収プロジェクト、廃棄していた洗濯排水から低温廃熱回収するプロジェクトであり、ボイラーの燃料として使用される都市ガスの使用量が削減される。</p> <p>条件 3: プロジェクト実施事業所での原油換算エネルギー使用量は年間 688kL であり、3,000kL より少ないことから第一種エネルギー管理指定工場ではない。</p> <p>条件 4: フラッシュ蒸気の回収量はボイラーの蒸気発生量、生蒸気圧力、フラッシュ蒸気圧力、生蒸気使用量のモニタリングが可能。また、低温廃熱回収プロジェクトは、廃熱回収前後の温度と流量のモニタリングが可能</p> <p>条件 5: プロジェクト総事業費 1,469 万で、補助金等は大阪府補助金: 130 万(低温廃熱回収装置の設置費用分)</p> <p>年間、132CO₂トンの省エネ効果</p> $132 / 2.27 \text{ 千 N m}^3 / \text{t-CO}_2 \times 1000 \times 40 \text{ 円} = 233 \text{ 万円/年}$ <p>投資回収年数は $(1,469 \text{ 万円} - 130 \text{ 万円}) / 233 \text{ 万円} = 5.7 \text{ 年}$</p>

² プロジェクト情報は、プロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA/QC 体制等に関することを 2 ページ以内で記述してください。

	<p>3. 法令遵守状況</p> <p>本プロジェクトに関連する許認可及び関連法令等はなし。</p> <p>4. プロジェクトで使用する設備・機器等</p> <p>【採用技術】</p> <table border="1" data-bbox="456 456 1374 658"> <thead> <tr> <th>機器名</th> <th>メーカー名</th> <th>耐用年数</th> <th>導入時期</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドレン回収タンク</td> <td rowspan="2">スパイラックス・サーコ株式会社</td> <td rowspan="2">20年</td> <td rowspan="2">平成 20 年 12 月 10 日</td> <td>FV-6(150φ×1,000)</td> </tr> <tr> <td>制御弁</td> <td>KE-PN 3 台他</td> </tr> <tr> <td>エコメリット改良型</td> <td>朝日加工株式会社</td> <td>10 年以上</td> <td>平成 22 年 1 月 15 日</td> <td>熱交換器</td> </tr> </tbody> </table> <p>5. モニタリング方法</p> <p>都市ガス使用量: 都市ガス供給会社管理メータ(検定付き)</p> <p>蒸気発生量、ブロー量、蒸気圧: 自社管理計量器にて把握</p> <p>ボイラー給水量: 自社管理計量器にて把握(検定付き)</p> <p>熱交換器入口出口温度: 自社管理計量器にて把握</p> <p>熱交換器流量: 自社管理計量器にて把握(検定付き)</p> <p>6. GHG 算定式の方法論への準拠性</p> <p>一部準拠しない。(ベースライン排出量のフラッシュ蒸気発生率については、工場内の生蒸気圧と日本機械学会の飽和蒸気圧表から算出。)</p> <p>7. モニタリング体制</p> <p>ボイラー、連続洗濯機の稼働実績等の記録や熱交換器エコメリットの流量や温度は毎日記録し、担当者が保管管理し、報告書は管理者責任者が認証するとともに第三者機関(財大阪府みどり公社)が年 1 回チェックを行う。</p> <p>8. QA / QC 体制等</p> <p>データの品質を確保するため、教育・訓練、情報の保管、データの確認、機器の精度管理(年 1 回ボイラーメンテナンス会社で流量計、ガス流量計、圧力計などの精度管理を、温度計については年 1 回協議会が行う)、内部データチェックを行う体制を社内に構築するとともに、年に 1 回は外部監査でプロジェクト進捗状況の検証を受ける。</p>	機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考	ドレン回収タンク	スパイラックス・サーコ株式会社	20年	平成 20 年 12 月 10 日	FV-6(150φ×1,000)	制御弁	KE-PN 3 台他	エコメリット改良型	朝日加工株式会社	10 年以上	平成 22 年 1 月 15 日	熱交換器
機器名	メーカー名	耐用年数	導入時期	備考														
ドレン回収タンク	スパイラックス・サーコ株式会社	20年	平成 20 年 12 月 10 日	FV-6(150φ×1,000)														
制御弁				KE-PN 3 台他														
エコメリット改良型	朝日加工株式会社	10 年以上	平成 22 年 1 月 15 日	熱交換器														
プロジェクト実施場所	(プロジェクト実施場所が複数ある場合は、全ての住所を表形式等で記述する。) 大阪市東淀川区豊里 3 丁目 7 番 43 号																	
プロジェクト期間	2009 年 1 月 4 日 ~2029 年 12 月 31 日(20 年 0 ヶ月)																	
クレジット期間	2009 年 1 月 4 日 ~2013 年 3 月 31 日																	

プロジェクト計画開始 届提出日	2010年6月30日						
妥当性確認終了日	2010年10月4日						
想定削減・吸収量	年度	2008	2009	2010	2011	2012	合計
	t-CO2	14	72	132	132	132	482
適用実施規則	オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 ver. 2.1						
適用モニタリング方法 ガイドライン	オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン (排出削減 プロジェクト用) ver. 2.1						
適用方法論	方法論番号	JEAM 006 ver. 2.0					
	方法論名称	低温廃熱回収・利用					
ダブルカウントの防止措置							
ダブルカウントの防止 の措置を講ずる事業 者	(プロジェクト代表事業者と同一の場合は記入不要)					印	
公的な報告・公表制 度(判明している公 的的制度)	該当なし						
自主的な報告・公表 対象(対象となるホ ームページ、環境報 告書等)	該当なし						
備考欄							

以 上